

令和 2 年度 墨田区立吾嬬立花中学校 経営報告書

令和 3 年 3 月 1 9 日

<p>学 校 目 標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで学び、深く考え、行動できる生徒</li> <li>○誠実で、思いやりのある生徒</li> <li>○自らきたえ、心身ともに健やかな生徒</li> </ul>
<p>目指す学校像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学力向上」を図る授業改善</li> <li>○「自主自律」を育む生活指導</li> <li>○「自尊感情」を育む学校行事・部活動</li> <li>○「地域への愛情」を育む連携行事</li> </ul>
<p>目指す子供像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習や様々な活動に意欲的に取り組み、目標に向かって努力する生徒</li> <li>○社会のルールを理解し、規範意識を身に付け、社会に貢献しようとする生徒</li> <li>○人の立場を理解し、協調性のある生徒</li> <li>○心身をきたえ、思いやりのある生徒</li> </ul>
<p>目指す教師像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広い視野に立ち、組織的に行動できる教師</li> <li>○互いのコミュニケーションを大切にし、教育目標を達成しようとする教師</li> <li>○研修に励み、自己の授業力向上を目指すとともに、指導教諭の授業を参考に、授業改善に努力する教師</li> <li>○校内 O J T を日常的に実践し研鑽に励み、自己の能力と資質の向上に努める教師</li> <li>○生徒一人一人の気持ちを理解し、どの生徒にも公平に対応できる教師</li> <li>○保護者・地域の願いや思いを理解できる教師</li> <li>○いじめ・暴力・暴言等に対し、不適切な指導や体罰を伴わない毅然とした態度で指導できる教師</li> </ul>

様式 4

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施等	C	授業アンケートで分かりやすいと80%以上が肯定的意見となっているが、実力テストにおいて目標とするDE層削減するところまでは至っていない。現在、授業においてタブレットを利用した授業改善やタブレットを利用した家庭学習の確立に向けて取り組みを推進していく。	B	B
	特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等	B	保護者アンケートにおいて肯定的意見が85%と目標値を超えることができた。今後は今まで以上に校内委員会において特別な支援を必要とする生徒への支援について情報交換を行い、生徒理解を深めながら指導を充実させるとともにユニバーサルデザイン教育についても研究を深めていく。	B	A
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等	C	保護者アンケートにおいて目標の80%に達することができなかった。今年度は職場体験や上級学校訪問を実施することができなかった。コロナ禍であっても社会的自立に向けたキャリア教育の取組を強化していく。職業調べ、上級学校調べ、卒業生の話を聞く会の実施についても見直しを図っていく。	B	B
	教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等	C	新学習指導要領が来年度から始まる。知識・技能の徹底を図りながら授業の中で思考し、判断し、表現できる場面を多くとりいていく。学んだ知識が社会や生活でどのように生かされるかを見据えながら授業を展開していく。また、表現の場として学習発表会を予定している。	B	B
	主体的な学びと家庭学習の確立	B	授業アンケートで「自分から調べてできるようなる」の項目で目標となる80%を超えることができなかった。主体的に学習に取り組むことができるように教師からの発問やワークシートの工夫など授業改善を行っていく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に各校力を入れてきておりますが、学力UPに繋がれば良い。</li> <li>・コロナ禍の影響で大変な状況の中、良く指導されていると思う。これからもコロナの影響があると思うが、オンライン等の授業とかも含めて考えていただきたい。</li> <li>・2項目で実際当事者やその関係者にしかわからないところもあると思いますので、もう少し詳しい分析が必要ではないかとも思います。</li> <li>・クラス内の能力差、家庭環境の万別等全体のレベルアップは大変だと思います。</li> <li>・自己評価についてどの様な場合にA評価をつければ良いのかわかりにくい。</li> <li>・タブレット学習は良いと思います。今後、活躍の場が増えていくのが楽しみです。</li> </ul>		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等	B	保護者アンケートにより肯定的な意見が 82%と目標をクリアすることができた。いじめ、不登校に限らず生活指導上の問題点に関してはすべて方から肯定的意見をいただけるように早期対応、早期解決を目指すだけでなく未然防止に努めていく	B	A
	基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等	A	保護者アンケートにより肯定的な意見が 92%と目標をクリアすることができた。今後も基本的な生活・社会習慣を確立させ、規範意識を育て、全ての方から肯定的意見をいただけるように指導を続けていく。	A	A
	安全を確保するための取組等	A	保護者アンケートにより 95%の肯定的意見をいただいている。コロナ禍ではあるか来年度は日常の安全指導やセーフティ教室の実施に加え、地域と協働による防災訓練や生徒有志による防災コンテストの参加を目指していきたい。	A	A
	不登校の解消	B	昨年度は不登校率 4%を超えていた目標としていた 3%台(3.5%)となった。本年度から登校しぶりの見られる生徒に対して別室での登校を勧め、自宅に引きこもらないようにしてきた。来年度はさらに不登校ゼロを目指し別室登校から教室に復帰していくために別室での指導を整備していく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導の面で、良い指導をされていると感じています。</li> <li>・たいへん良く指導されていると思います。</li> <li>・1項目で生徒のアンケートからすると半数近くの子が保護者にも学校にも相談せずという結果ですので、保護者にも言えるところですが、もう少しコミュニケーションや信頼関係の構築必要ではないかと思います。</li> <li>・良い友人を作ることが大切ですが…。授業以外の活動を生かしたいです。</li> <li>・いじめや不登校に対して、早期解決に向けて全力で取り組んでいる姿勢がとても素晴らしいと思いました。</li> </ul>			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等	B	保護者アンケート「教育方針をわかりやすく説明」で84%の肯定的意見をいただいた。主幹会議や運営委員会、職員会議など組織的かつ計画的に実施し、保護者会等を通して保護者に情報発信を行ってきた。今年度始めたWeb保護者会を来年度、積極的に取り入れていきたい。	B	A
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び評価等	C	今年度、保護者アンケートを始めてweb回答とした。回収率は75%と目標とした80%以上とはならなかったが、概ね好評であった。来年度は周知を徹底し80%以上を目指す。	B	B
	教育環境・設備等の整備状況等	A	保護者アンケート環境整備や校内美化に関する項目で98%の肯定的意見をいただいた。学校管理員だけでなく生徒の美化活動もより一層推進し、この新しい校舎を維持管理しながら生徒に安全で過ごしやすい環境を提供していく。	A	A
	体罰等服務事故防止	A	定期的な服務研修を実施し、体罰等服務事故は起きていない。ただ、日常的な声かけを含め未然防止に努めていきたい。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服務研修を大いにしていきたい。毎日のように、紙面に取り上げられている。</li> <li>・校内はいつも清潔でとても気持ちが良いです。</li> </ul>			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等	C	毎月学校だよりを発行することができなかった。校内体制を見直し、毎月発行できるようにしていく。学校だよりに加え、ホームページを充実させ、学校メール配信等をさらに活用しながら丁寧に教育活動等を伝えていきたい。また、来年度は動画による発信も推進していきたい。	B	B
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等	B	保護者アンケート「学校は保護者、地域の方の声に耳を傾け、教育活動を行っている」の項目で89%の肯定的意見をいただいた。コロナ禍ではあるが、感染症対策を講じた上で公開できるところは積極的に公開していきたい。	B	A
	吾立中ブロック小学校3校、幼稚園保育園との連携強化	C	今年度、可能な範囲で意見交換や情報交換を行ってきた。来年度は小一プロブレムや中一ギャップを解消すべく生活指導における連携を推進しながら教科連携を強化し、学びの連続性を図っていきたい。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック化、今一つ見えていない部分があります。</li> <li>・教育方針等についてももう少し外部に知ってもらう様、検討してほしい。</li> <li>・地域を大事にし、開かれた学校ですごく良いと思います。</li> <li>・国会議員、官僚の不始末の報道が後を断ちません。大人がエリを正し、子供達に悪影響を及ぼさないようにしないといけません。</li> <li>・コロナ禍で地域と交流や幼保小中の交流が行えなかった事がとても残念です。</li> </ul>		

2 令和2年度学校評価のまとめ

コロナ禍において授業や学校行事等において様々な制限があった中ではあるが、保護者アンケートや授業アンケートの質問において生活指導を中心に80%以上の肯定的な意見を多くいただいた。また、学校関係者評価においても良好にあたるA評価を多くいただいた。しかし学校としては、各教科の指導における学力向上や普通教育における特別支援教育、将来を見据えたキャリア教育、日常の教育活動を伝える取組は不十分と考える。来年度は今年度整備されたipadを活用し、授業改善や家庭学習の充実、学校教育の様々な取組を発信する広報活動の推進などICT教育を発展させると共に、生徒や保護者に気持ちに寄り添った教育活動を展開するためにもユニバーサルデザイン教育(UD教育)を充実させていく。

以上の通り報告いたします。

区立 吾嬭立花中学校長 佐藤 順一 公印